

## キャリア教育実践に向けての連携先一覧

### 講師紹介、職場体験、インターンシップ先紹介

講師、職場体験、インターンシップ先を紹介する機関です。

**ハローワーク（公共職業安定所）  
「ジュニア・インターンシップ」**

**連絡先（窓口）各ハローワーク学卒部門**  
ハローワーク大阪東、ハローワーク梅田、ハローワーク大阪西、ハローワーク阿倍野、ハローワーク淀川、ハローワーク布施、ハローワーク堺、ハローワーク岸和田、ハローワーク池田、ハローワーク泉大津、ハローワーク河内柏原、ハローワーク枚方、ハローワーク泉佐野、ハローワーク茨木、ハローワーク河内長野、ハローワーク門真

**概要**  
子どもたちが適性に合った仕事や職場と出会うように、自己理解支援、職業の情報提供、職業相談・進路相談を行っています。

**URL** <http://osaka-rodo.go.jp/kyoku/hello/osaka.html>

**（財）大阪労働協議会 ジョブカフェ事業部  
JOBカフェOSAKA** 

**06-4794-7355**

**〒540-0031**  
大阪市中央区北浜東3-14 エル・おおさか3F

**概要**  
若年者を対象とした“就職支援”施設です。既卒者の就活支援のほか学生のキャリア形成支援も行っています。

**URL** <http://www.jobcafeosaka.jp/>

**大阪キャリア教育支援ステーション** 

**06-6944-5385**

**〒540-0029**  
大阪市中央区本町橋2-8 大阪商工会議所2F

**概要**  
大阪の小中高校で行われているキャリア教育に対し、社会人講師や職場見学・体験先等を紹介します。

**URL** <http://www.career-osaka.jp/>

### プログラム提供

キャリア教育のプログラムを提供する機関です。

**NPO 法人  
JAE** 

**06-6131-3573**

**〒530-0028**  
大阪市北区万歳町4-12 浪速ビルディング 西館401A号室

**概要**  
「夢を描き社会で実現する力」を育むことを目的に、教育現場と地域社会や企業を繋ぐ教育プログラムを実施しています。

**URL** <http://www.jae.or.jp/index.html>

**NPO 法人  
南大阪地域大学コンソーシアム** 

**072-258-7646**

**〒591-8025**  
堺市北区長曽根町130-42 さかい新事業創造センター1F

**概要**  
堺・南大阪地域を中心として、小学校から大学を対象に、「人間基礎力」の育成を目標としたキャリア教育プログラムを実施しています。

**URL** <http://www.osaka-unicon.org/>

**NPO 法人  
こども盆栽** 

**06-6773-4450**

**〒543-0052**  
大阪市天王寺区大道3-8-12（天王寺事務所）

**概要**  
こどものまち事業では、地域の資源を見出し、自ら新しい仕事を作り出すプログラムを行い、仕事まなび事業では、学校と連携したまちづくりワークショップを提供しています。

**URL** <http://cobon.jp/>

**株式会社  
キャリアリンク** 

**06-6251-6001**

**〒542-0083**  
大阪市中央区東心斎橋1-14-15アルスビル5F

**概要**  
教育現場の様々なニーズに対応するため、主に企業と連携したキャリア教育プログラム（出張授業・教材提供・教員研修）を提供しています。

**URL** <http://www.careerlink-edu.co.jp>

## キャリア教育 の実践に向けて

Career Education

制作・発行 **大阪府立大学**  
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1（なかもずキャンパス）

**大阪府教育センター**  
〒558-0011 大阪市住吉区荻田4丁目13-23

【本リーフレットに関するお問い合わせ先】

制作協力 **NPO法人 南大阪地域大学コンソーシアム**  
〒591-8025 堺市北区長曽根町130-42 さかい新事業創造センター1F  
**TEL 072-258-7646 FAX 072-258-7641**  
Eメール **office@osaka-unicon.org**  
HPアドレス **http://www.osaka-unicon.org/**

～初等中等教育から高等教育に至るまでの  
体系的なキャリア教育の推進をめざして～



# Career Education

大阪府立大学  
大阪府教育センター

平成23年3月

## 体系的なキャリア教育の推進に向けて

### 概要

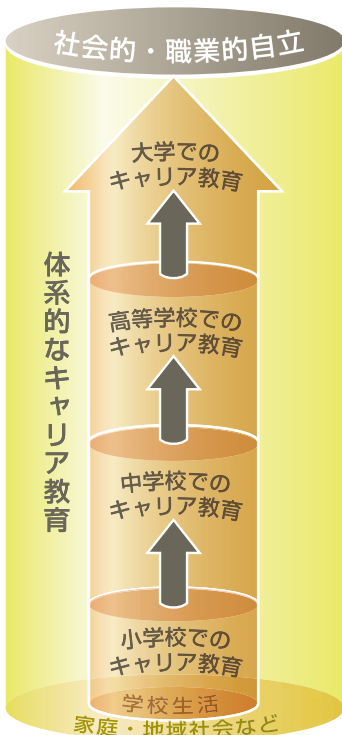
キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことです。推進にあたっては、キャリアが子ども・若者の発達の段階やその発達課題の達成と深くかわりながら段階を追って発達していくことを踏まえて、小学校段階から大学に至るまで体系的に進める必要があります。その中心は、基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会・職業との関連を重視しながら、実践的・体験的な活動を充実することです。

### 意義・効果

キャリア教育の意義・効果として、次の3つを挙げることができます。

- ①学校教育を構成していくための理念と方向性を示し、教育課程の改善が促進されます。
- ②将来、社会人・職業人として自立していくために発達させるべき課題があるという前提に立ち、各学校段階で取り組むべき発達課題を明らかにして日々の教育活動を展開することにより、児童生徒等の全人的成長・発達を促すことができます。
- ③学校生活と社会生活や職業生活を結び、関連付け、将来の夢と学業を結び付けることにより、児童生徒等の学習意欲を喚起することができます。

中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(平成23年1月)より一部改竄



## キャリア教育指導者養成研修の実施

大阪府教育センターが中心となり、キャリア教育担当教員を支援するためのキャリア教育指導者養成研修を実施しています。

- **研修対象** 小学校、中学校、府立高等学校及び府立支援学校（小学部、中学部、高等部）におけるキャリア教育担当または担当予定の教職員 【小学校20名、中学校20名、高等学校20名】
- **講師等** キャリア教育専門家およびキャリア教育コーディネーター

### 研修内容

| 回数  | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | <b>講義</b> 「キャリア教育とは、」<br>キャリア教育の定義について理解する。<br><b>実践発表</b> 「小・中・高等学校におけるキャリア教育の事例発表—校種間連携の工夫—」<br>中学校、高等学校における先進的な取組の実践発表を行う。<br><b>パネルディスカッション</b> 「キャリア教育の推進と連携の方策について」<br>大阪府立大学、企業、教員等によるパネルディスカッションを行い、キャリア教育を支えるシステムの在り方について学ぶ。                                                                                            |
| 第2回 | <b>講義</b> 「各学校段階におけるキャリア教育の推進について、」<br><b>演習</b> キャリア教育が求められる背景、その意義、基本方向と推進方策、条件整備について学ぶ。<br><b>講義 ワークショップ</b> 「キャリア・カウンセリングの基礎」<br>キャリア・カウンセリングの意義と位置づけ、キャリア・カウンセリングに必要な情報提供と接し方について、演習やワークショップを通じて学ぶ。                                                                                                                         |
| 第3回 | <b>講義</b> 「キャリア教育の観点を取り入れたカリキュラムづくりのポイント」<br>新学習指導要領におけるキャリア教育の位置づけ及び各学校段階に応じたキャリア教育の観点を取り入れたカリキュラムづくりのポイントについて学ぶ。<br><b>ワークショップ</b> 「ものづくり企画・提案プログラム—こんな〇〇欲しかったん!—」<br>「こんな自転車欲しかったん」などの課題解決型プログラムを通じて知識を活用する方法を学ぶ。<br><b>講義</b> 「キャリア教育プログラムの効果を測定しよう」<br>充実したキャリア教育プログラムの効果測定について学び、実際にキャリア教育の視点を取り入れた教科プログラムや職場体験プログラムを作成する。 |
| 第4回 | <b>実証研修</b> 「現場における実証研修」<br>本研修の受講者が学校現場でキャリア教育の授業実践を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 第5回 | <b>研修の評価</b> 「地域協議会」の開催<br>近畿経済産業局及び大阪商工会議所、NPO、教員等によって構成される地域協議会を開催し、研修の評価および改善を行う。                                                                                                                                                                                                                                             |

### e-ラーニング

平成22年度に実施したキャリア教育指導者養成研修をe-ラーニング化したものについて、下記URLから参照頂けます。  
**URL** <http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~majima/oec/>

### webサイト

これまでキャリア教育指導者養成研修で作成した研究集録をWeb上に公開しています。  
**URL** [http://www.osaka-unicon.org/career\\_leader/](http://www.osaka-unicon.org/career_leader/)

## 初等中等教育から高等教育におけるキャリア教育の事例

### 大阪市立東都島小学校

**目標** 商品開発・まちづくり提案を通じて、社会に出ても力強く生きることのできる力をつける

**学年・タイトル** 5年生 こんな学習机が欲しかったん！ 6年生 こんな都島が欲しかったん！

**実施科目** 総合的な学習の時間（約25時間）

**育む力** 論理的思考力、課題対応力 等

**紹介** 東都島小学校では、平成20年度より南大阪地域大学コンソーシアム、大阪府教育委員会、各種企業・団体からの協力を得ながら、キャリア教育を実施してきました。平成22年度は、児童生徒に身近な学習机を取り上げ、株式会社イトーキの協力のもと、「こんな学習机が欲しかったん」というテーマに5年生が取り組みました。また、6年生は都島区と協力し、「こんな都島が欲しかったん」というテーマに取り組みました。それぞれのテーマでは、企画書作りを通して思考力・読解力を学びます。企画書作りにおいて徹底的に「考え抜き」、プレゼンテーションで考え抜いたことを「伝え切る」ことが目標

です。このプロセスを通じて社会人としての基礎力を身につけます。今回、企画発表を終え、子どもたちは大人にも負けないプレゼンテーションを行い、自信をつけることができました。また、平成22年度は発表だけでなく、地元企業であるハタ鉱泉と協働して、「都島ラムネ」の商品開発し、成果としました。



### 学びのステップ

- 1 ミッション
- 2 企画書作成
- 3 中間発表
- 4 練り直し
- 5 最終審査会

### 大阪狭山市立南中学校

**目標** 職業ガイドブックづくりを通じて、職業観・勤労観を育み、ホンモノの実際を知る

**学年・タイトル** 中学校2年生 職業ガイドブックを作ろう！

**実施科目** 総合的な学習の時間（約20時間）

**育む力** 自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力 等

**紹介** このプロジェクトのテーマは、子どもたち一人ひとりが自分の将来モデルの一つとしての「仕事」を知ることです。そのため、どのような仕事があるのかをまず調査し、考えます。次に、実際に働くおとなにインタビューし、内容を取りまとめ、最終的に『職業ガイドブック』を作成することをめざします。『職業ガイドブック』作成にあたっては、グループでコミュニケーションを取りながら活動を行ったり、より他の人にわかりやすいものにするために考え抜く学習をします。これらによって、社会人基礎力などの力をつけることも目標の一つと言えます。特に、今回のプロジェクト学習では、次の4点

を大きな特色として展開します。

- ①地域との連携をはかる。(1年生時の学習を発展させ、街の達人との連携も深める)
- ②地元企業や協力団体(学校法人河合塾、南大阪地域大学コンソーシアム)との支援・協力関係をつくる。
- ③学習・活動の評価を位置づける。(効果測定・外部評価)
- ④地域に発信する。(地域ケーブルテレビを通じての情宣。制作物を公共施設などに配布など)



### 学びのステップ

- 1 事前学習
- 2 インタビュー講座
- 3 インタビュー実施
- 4 原稿まとめ(製本)
- 5 発表

## 中学校



### 大阪府教育センター附属高等学校

(現 大阪府立大和川高等学校)

## 高等学校

**目標** 自分の将来のライフスタイルを考える—教科で進めるキャリア教育—

**学年・タイトル** 高校1年生 『ワーク・ライフ・バランス—あなたは思う?—』

**実施科目** 家庭総合（全3時間）

**育む力** 情報活用能力、論理的思考力、キャリアプランニング能力 等

**紹介** 平成23年4月に開校する大阪府教育センター附属高等学校では、キャリア教育の視点で学校の教育活動全体をつないでいくために、教科・領域を越えて活用・探究型の学習を行う学校設定教科「探究ナビ」を、教育課程の中核として位置づけています。平成22年度には、その先行的な取組として、家庭科の中で、現代の子育てを取り巻く環境を

グループで分析・整理し、課題を見つけ、その解決策を考え、根拠を示しながらプレゼンテーションを行う授業を行いました。



### 学びのステップ

- 1 事前学習
- 2 解決策を発表
- 3 事後学習



### 大阪府立枚方なぎさ高等学校

**目標** 地域の職業人等との対話を通じて、高校生活と自分の未来をつなげる

**学年・タイトル** 高校1年生『プロに聞く=仕事発見の旅—「自分の夢探し」から「自分の夢に迫る」—』

**実施科目** 総合的な学習の時間（全3時間）

**育む力** 職業理解力、自己理解、キャリアプランニング能力 等

**紹介** 枚方なぎさ高等学校では、開校当時から、校内に総合的な学習の時間の企画委員会を設置し、組織的にキャリア教育に取り組んでいます。このプログラムでは、地域と連携して、15の職種に携わる、社会の第一線で活躍しているプロを学校に招き、各分科会に分かれて、仕事の厳しさや喜び、今の仕事に就いたきっかけ、高校時代の様

子などを生徒に話してもらうとともに、実際に職業体験も行い、生徒が自己理解を深め、人生観や職業観を広い視点から見つめることを目標にしています。



### 学びのステップ

- 1 事前学習
- 2 解決策を発表
- 3 事後学習



### 大阪府立大学

**目標** ものづくり産業を活性化できる人材を育成する

堺市ものづくり産業活性化「仕掛け人」の育成プログラム\*

**学年・タイトル** 堺市ものづくり産業に興味のある学生

平成21年～22年度の2年間

**育む力** 自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力 等

**紹介** 本事業では、堺市ものづくり産業を活性化できる人材を育成することを目指すとして、堺市ものづくり産業に興味のある学生を募集し、2年間かけて、「ものづくり仕掛け人」育成プログラムを実施してきました。1年目は堺市産業のリストから、自分たちの興味関心の持てる企業をピックアップして、会社に出向きインタビューを行い、レポートにまとめ、それらをデータベース化してホームページで発信できるようにしました。2年目は、その経験を生かして、堺市の産業を活性化するというミッシ

ョン(使命)のもと、様々なイベントを企画して実施しました。その他、みんなが集える「場」を作りたくて、杉の木を使って「YATAI」を製作しました。この「YATAI」はその後のイベントでみんなの「場」として活用しています。



### プログラムの流れ

- 1 企業の選定 (1年次)
- 2 インタビュー実施 (1年次)
- 3 レポートまとめ (1年次)
- 4 産業振興のミッション (2年次)
- 5 産業振興のイベント実施 (2年次)